



コモンズBABY こどもトラスト

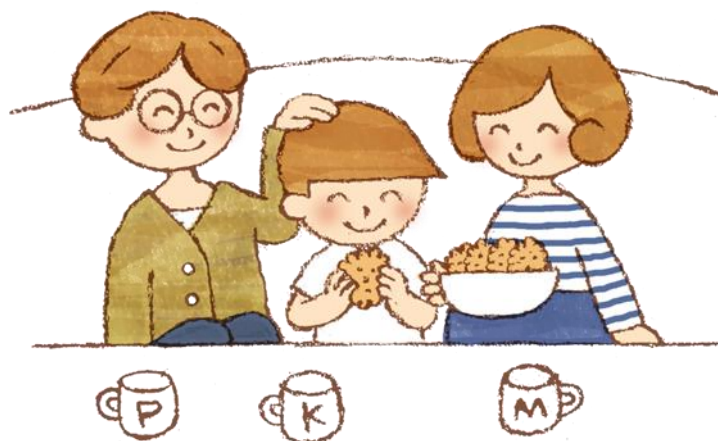
教育資金づくり お役立ち

BOOK

時間を味方につけてしっかり貯めて大きく増やす

目次

教育にかかるお金.....	1
幼稚園～高校までの教育費.....	3
教育費の支出の考え方.....	4
どんな風に貯める？.....	5
児童手当・幼児教育／保育無償化の活用.....	6
資産作りを始めよう.....	7
本当に運用が必要となる部分.....	8
下げが味方になる積立投資.....	9
つみたて投資はタイミングが重要？.....	10
積立投資のメリット.....	11
コモンズ投信で積立投資を行った場合.....	12
2024年からのNISA制度の概要.....	13
学資保険ってどうなの？.....	15
こどもトラストで利用できるファンド.....	16
コモンズBaby.....	20
世代を超える投資.....	20

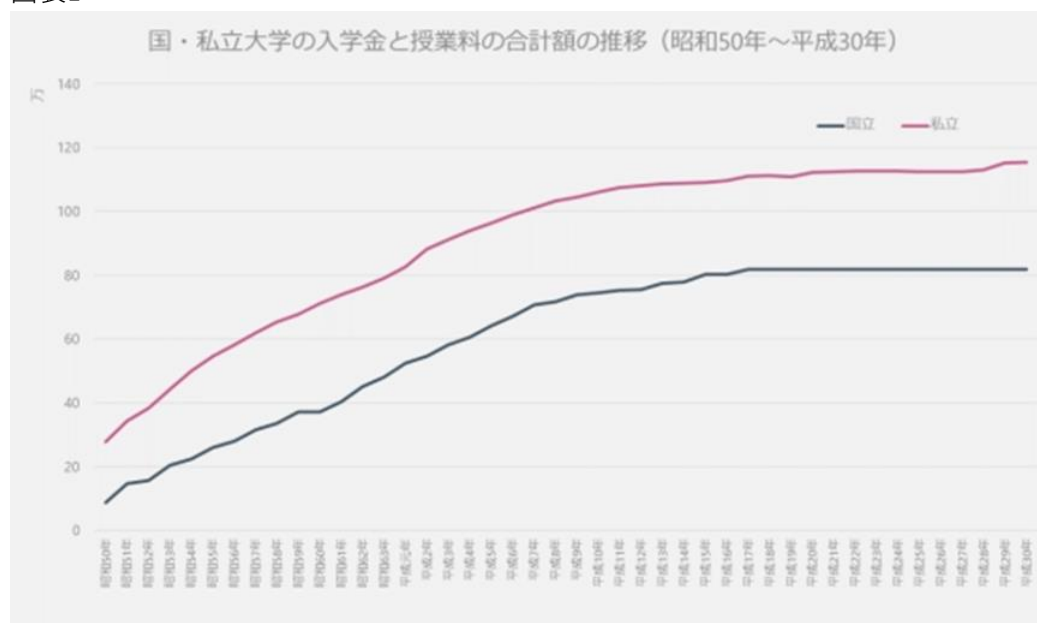


教育にかかるお金

はじめに教育にかかるお金についてみていきましょう。

図表1は昭和50年（1975年）からの国立・私立大学の入学金と授業料の合計額の推移です。この40年間で3～4倍になっていますので物価はかなり上昇したと言えると思います。

図表1¹



このように教育費が上がってきている中で、奨学金をもらいながら高校以降の大学高等教育等を受けているお子さんも非常に増えており、約半分の方は何かしらの奨学金に頼っているという状況です。奨学金には返済が必要なものと不要なものがありますが、負担が重く、社会人になった後に返済不能に陥るケースも少なくないといわれています。お子さんが大学等に進むまでに教育資金が準備できるのが理想だと思いますので、早めの教育資金作りについてこれから一緒に考えていきましょう。

¹ (出所) 文部科学省データよりコモンズ投稿作成

幼稚園から大学まで全て国公立に通った場合と私立に通った場合の各時代における教育費が具体的にどの程度かかるのか、図表2をご覧ください。

全て公立の場合で合計額が942万円、下宿などをする場合は1,000万円を超えます。すべて私立の場合は、総額は公立の2倍以上の2,286万となっています。

教育費は「子どもひとり1,000万円」と言われますが、1,000万円というのは幼稚園から大学まですべて公立に通った場合の金額です。首都圏にお住まいの方であれば、中学校ぐらいから私立に行くという選択肢もあるでしょうし、大学となると私立に行く方も多いでしょう。

すると教育費の総額は最低で1,000万円と考える必要があるのです。

図表2²

<すべて国公立に通った場合>

幼稚園	小学校	中学校	高等学校	大学 (※2)	合計
669,900	1,845,500	1,443,900	1,545,900	平均 3,920,000	9,425,200
				自宅 2,680,400	8,185,600
				下宿・アパート 4,870,000	10,375,200

<すべて私立に通った場合>

幼稚園	小学校	中学校	高等学校	大学 (※2)	合計
1,625,600	8,362,500	3,709,300	2,929,100	平均 6,239,600	22,866,000
				自宅 5,175,200	21,801,600
				下宿・アパート 7,905,600	24,532,000



² 幼稚園～高等学校の教育費は文部科学省平成 20 年度子どもの学習費調査結果」に基づいて作成 (単位:円)

大学の教育費については独立行政法人日本学生支援機構「平成 20 年度学生生活調査報告」に基づいて作成

※1「学習費等」には授業料などの学校教育費や学校給食費、学校外活動費が含まれる

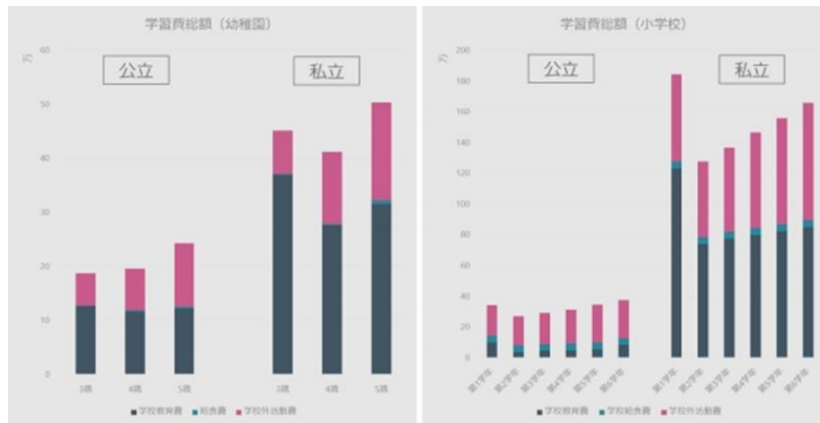
※2 家庭から学生への給付額を使用

(出所) 文部科学省 HP よりコモンズ投稿作成

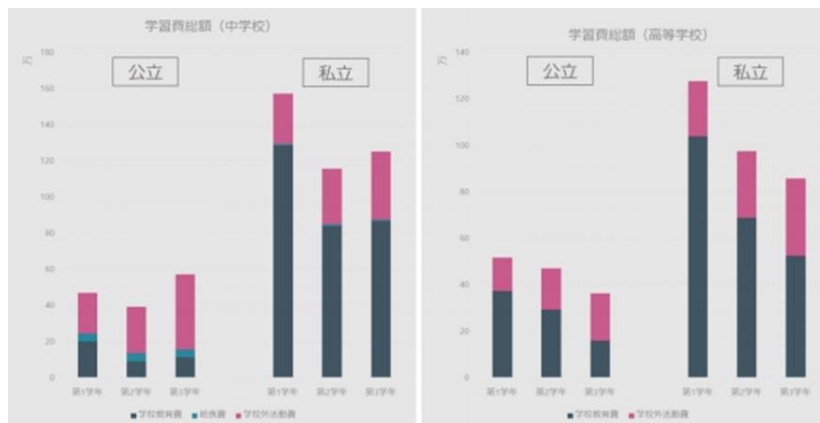
幼稚園～高校までの教育費

さらに幼稚園から高校まで、1年ごとにブレイクダウンしてみましょう。図表4は左が幼稚園、右が小学校の学習費総額です。どちらも入学時にまとまったお金がかかり、その後いったん下がってまた上がるという傾向がみられます。特に小学校では、公立と私立では金額に大きな開きがあるものの、どちらも入学時の負担が大きいことがわかります。この傾向は図表5の中学校、高校も同じで、入学する年に、かかる費用の割合が最も高くなっています。高校の場合は3年目に受験費用がかかりますが、同様に1年目の費用が最も大きいことがわかります。

図表 4³



図表 5⁴



³ 出所：「平成28年度子供の学習費調査」よりコモンズ投稿作成

⁴ 出所：「平成28年度子供の学習費調査」よりコモンズ投稿作成

教育費の支出の考え方

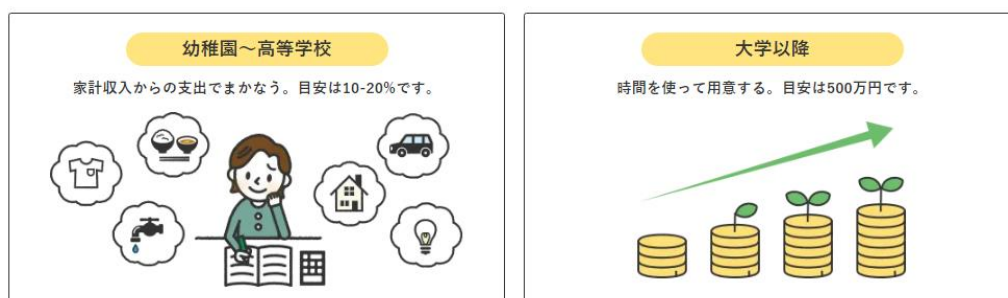
ここまでの話を踏まえると、教育費の備え方についてポイントとなる考え方は「貯められる時期と使う時期を把握する」ことです。

貯められる時期とは、教育費の総額が最も大きくなる大学以降の教育費の支出に備えるため、それまでの時間を準備期間に充てていくということです。図表5.6で確認したように、各時期の「入学時」に費用が大きくなり、さらにその中でも一番大きくなるのが大学の初年度(18才頃)となりますから、18才になるまでの時間を使って準備できるように計画することが重要です。具体的には、幼児期に教育費準備のための「仕組み」を作ってしまうことがカギになるのです。

次に、家計のどれぐらいの割合を教育費として貯蓄や投資にあてるか、ですが、幼稚園から高校までの教育費はできるなら家計収入の中で賄う。その目安は家計収入の中の2割までが理想です。それを支出した上で、さらにその家計収入の中から将来に向けた貯蓄や投資をしていきましょう。

逆に高校までの教育費で教育ローンを使っている、借金をしてしまっていると、高校以降の費用の捻出がかなり難しくなってきます。これは教育費もそうですし、ご家族や夫婦のその後の生活そのものにも大きな影響が出てくることになります。

そういった家計の収支計画の中で教育資産作りをすることで、いつ頃から私立に行かせることができるのかというのも考えやすくなると思います。大学以降の教育費については、400万～500万円ぐらいを目標にするというのがひとつの理想です。



どんな風に貯める？

では、どのように貯めていくのかですが、コツや早道があるわけではありません。時間を味方につけて貯めていくのが王道です。

図表 7

		利率 0%/積立金額 (毎月)				単位 : 万円
経過年数	1万円	2万円	3万円	5万円	10万円	
5年	60	120	180	300	600	
10年	120	240	360	600	1,200	
15年	180	360	540	900	1,800	
18年	216	432	648	1,080	2,160	
19年	228	456	684	1,140	2,280	
20年	240	480	720	1,200	2,400	

図表 7 は何も利息がつかない状態で貯めていった場合のシミュレーションです。月1万円を生まれてすぐから貯めていくと18才までで216万円貯まります。2万円だと先ほどの目標に近い432万円が貯められることになります。

図表 8⁵

		利率 7%/積立金額 (毎月)				単位 : 万円
経過年数	1万円	2万円	3万円	5万円	10万円	
5年	69	138	207	345	690	
10年	166	332	497	829	1,658	
15年	302	603	905	1,508	3,015	
18年	408	816	1,224	2,040	4,080	
19年	449	897	1,346	2,243	4,485	
20年	492	984	1,476	2,460	4,919	

ここで、預け先を1年あたり7%程度成長するものに替えることができれば、かなり景色が変わります(図表8)。同じ1万円でも18才までに408万円、2万円だと816万円と大幅に目標をクリアすることができます。お子さんが複数いらっしゃる方もこれくらい増えてくれればだいぶ楽になりますね。

もちろん1年あたり7%というのは約束されたものではなく、金融商品を使った場合には、変動するというリスクと付き合っていくことになります。リスクについては後ほど詳しくお話しします。

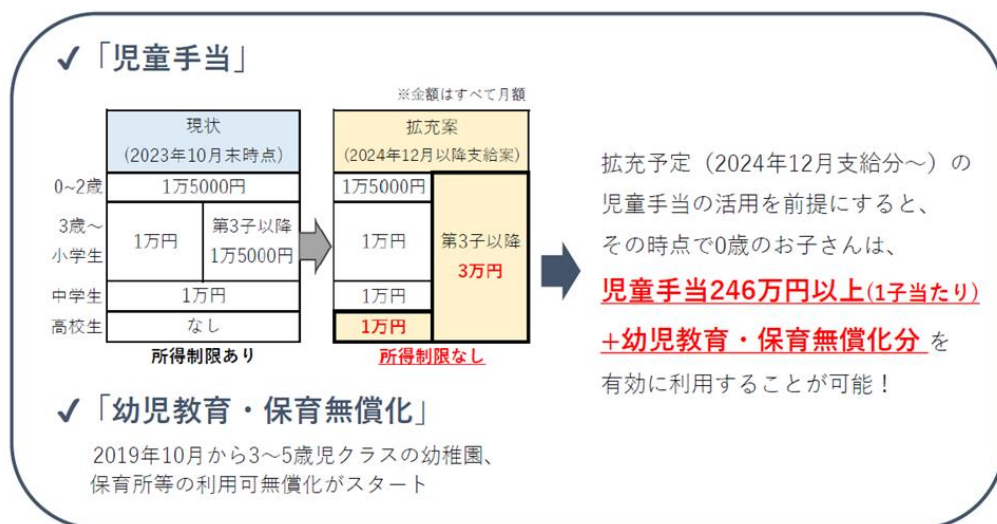
⁵ (注) 7%利回りを保証したものではありません。

児童手当・幼児教育／保育無償化の活用

貯めるときの財源としてぜひ意識して活用したいのが、児童手当や幼児教育保育の無償化といった手当です。児童手当は所得制限があるものの、ある一定の水準以下の収入であれば3才まで一律1万5000円、小学校までは1万円を毎月国からもらうことができます。生まれてすぐから18才まで月2万円貯めることができれば、ほぼ目標金額が貯められるという話をしましたが、その半分の1万円を児童手当で充当することができれば実際の自己負担は残り1万円になります。図表のように、2024年度からはさらに制度が拡充する予定です。

また、2019年から始まっている幼児教育や保育の無償化。これはお金をもらえるわけではないので実感しにくいかもしれませんが、この時期の教育費がかからないわけですから家計から教育資金作りに充てられる資金の余裕がでやすくなります。

図表 9⁶



⁶ 出所：東各種資料よりコモンズ投信作成 第3子以降とは、高校卒業まで（18才の誕生日後の最初の3月31日まで）の養育しているお子さんのうち、3番目以降を指す。

注) 2023年10月末時点の情報を基に作成しており、変更になる可能性があります。

資産作りを始めよう

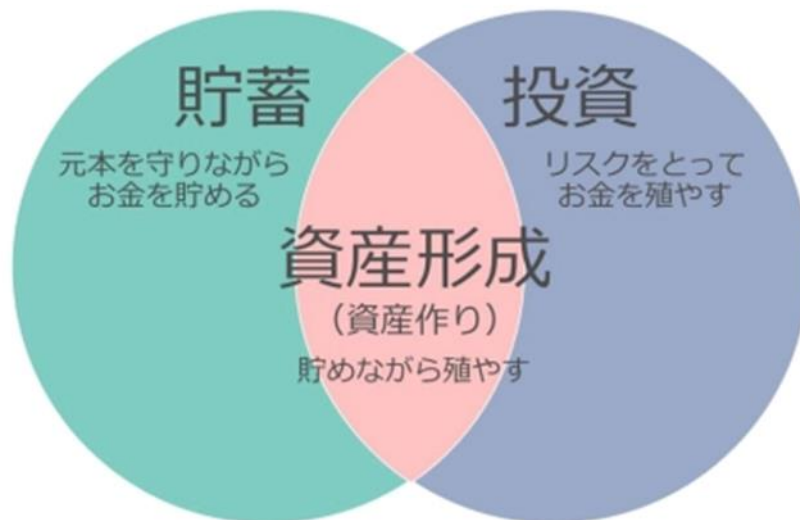
教育費の全体像が見えてきたところで、資産作りの具体的な方法に入っていきます。資産運用には大きく分けて貯蓄と投資の2つがあります。貯蓄は、元本を守りながらお金を貯めることなのでコツやテクニックは要りません。むしろ「続ける意思や行動」が重要になります。一方、投資はリスクを取ってお金を増やしていくことです。リスクを取るとはどういうことかということ、価格が変動する金融商品をタイミングを見て売ったり買ったりして利益を出すということです。

そういった投資にはテクニックが要りますし、たとえコツやテクニックを知っていて経験があっても百戦百勝とはいかないのが投資の世界です。投資は自分の行動や意思だけで貯めていける貯蓄とは異なります。投資とリスクのことをお話しすると、「やっぱり私は怖くてできない」とか「そんな危ないところに教育資金を預けられない」となりがちです。

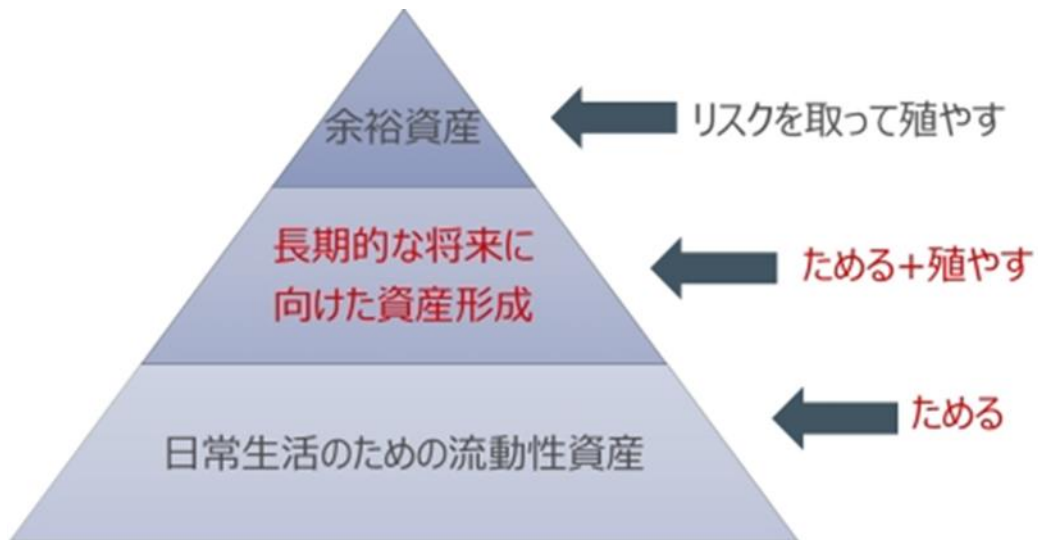
そこで、本記事では貯蓄と投資のよいところをあわせ持った「資産形成」について皆さんにご紹介していきます。

貯めるという行為はそのままに「預け先を成長するものに替える」のが資産形成です。

資産運用



本当に運用が必要となる部分



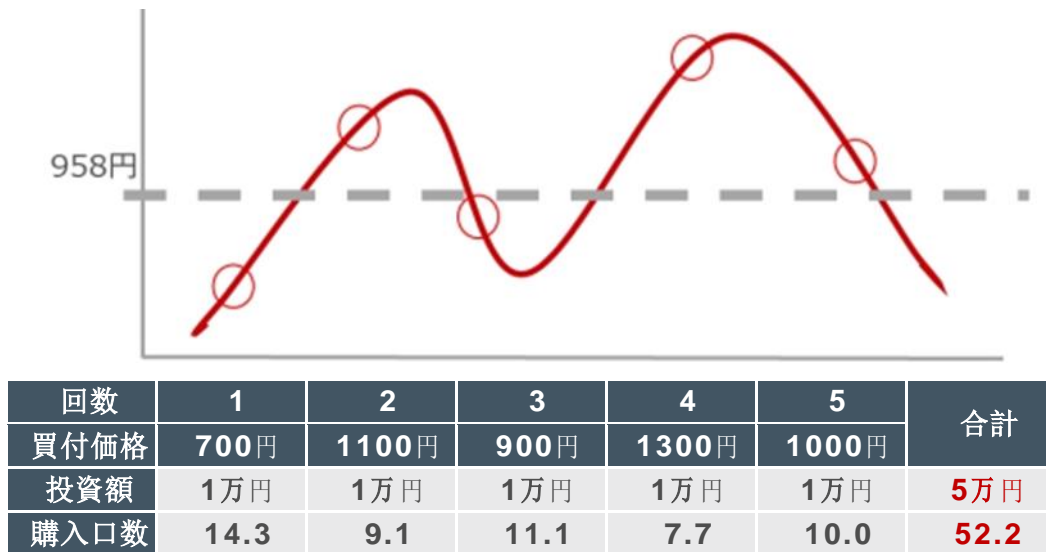
資産を作っていくときには順番があります。土台である「貯める」をせずにその上の「資産形成」をはじめるとはあまりおすすめできません。いつでも引き出せるお金がある程度貯めたうえで、次の資産形成に進んでください。どの程度貯めておけばよいかというと、3か月くらい収入が途絶えても生活できる程度のお金が貯められたら、次の資産形成のステップに進みましょう。資産形成の具体的な方法は、貯蓄と変わりません。貯蓄をつくる場合でも家計から「これは貯蓄にまわす分なので使わないぞ」と決めて貯めていきますね。そのやり方は変えずに預け先だけ成長するものに替えるのです。ここがとても重要で最大のポイントなのでぜひ頭においてください。



下げが味方になる積立投資

資産形成を実践するやり方としておススメなのが積立投資です。積立投資は毎月もしくは定期的に一定額ずつ変動する金融商品にお金を預けていく方法です。例えば、下の図のように価格が変動している金融商品があり、毎月1日と決めたとします。

図表10⁷



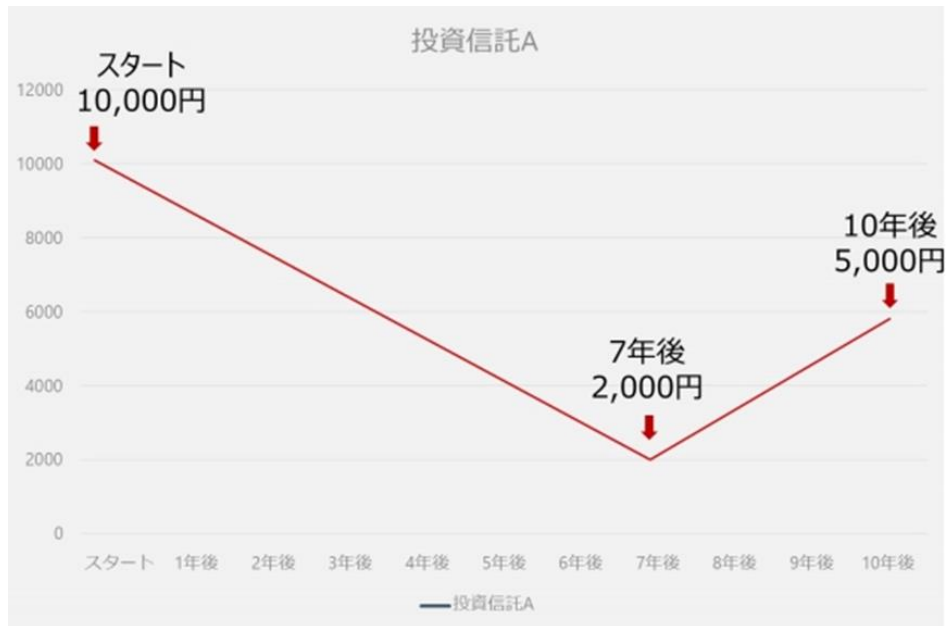
毎月1日にその金融商品についている値段で機械的に買っていきます。この金融商品の値段が700円→1,100円→900円→1,300円→1,000円と推移したとします。この商品に毎月1万円を預けたとしたら毎回買える量が変わっていきます。単純な割り算で、700円の時には1万÷700で14.3口という量が買えます。値段上がると買う量が減る。値段下がると買う量が増える。これを繰り返していきます。5か月つまり5回の購入を経過した時点では、累計で52.2口という量が買え、平均購入単価は5万円÷52.2口買えたわけですから958円になりました。何回にも分けて買うことで購入価格を平準化することができるわけです。では5万円拠出した時点で資産がいくらになっているのかを計算してみましょう。現時点の値段が1,000円の商品を52.2口保有しているわけですから、52.2×1,000円で52,200円。拠出額5万円に対して2,200円の差益が生まれているという計算になります。とても簡略化された例ですが、これが積立投資の仕組みです。毎月貯めるようにお金を預けていくという考え方です。

⁷ 上記はイメージであり、実際のファンドの運用実績ではありません。また将来の運用成果を予想、あるいは保障するものではありません。

つみたて投資はタイミングが重要？

ここでクイズです。

図表11⁸



1万円でスタートして、7年後に2000円まで値下がりし、10年後に5000円まで戻るという値動きをした金融商品があるとします。この商品に毎月1万円ずつ、1年間で12万円つまり10年間で120万円預けた時、10年後評価額はいくらになっているでしょうか？

- ①72万円②122万円③139万円



答えは③です。

⁸ 上記はイメージであり、実際のファンドの運用実績ではありません。また将来の運用成果を予想、あるいは保障するものではありません。
(出所) 『半値になっても儲かる「つみたて投資」』よりコモンズ投信作成

スタートから見れば価格が7年間も下がり続け、一時は5分の1の2,000円になって、10年後もまだスタートからみて半額という状況なのに、なぜ120万円が139万円になっているのでしょうか？もう一度、積立投資の成績をどのように計算するのかを思い出してください。積立投資の成績は価格×量で決まるとお話をしました。

■一括購入した場合

価格が1万円の時に120万円分まとめて買うので、まず、量は120口です。一括購入した場合、追加購入しないので、積立投資の式に当てはめると変数は価格だけになります。量が変わらないので価格が最終成績の決定要素になります。

■積立投資の場合

積立投資の場合は毎回買う量が変わります。価格は時間が経過しても上がるとは限らないのに対し、量は定期的を買うことを繰り返すので時間が経過すれば必ず増えます。時間の経過とともに必ず増えるのですから、なるべく時間を長くして量を増やしておけば最終的な成績に与える量の影響が大きくなっていきます。その結果、最終成績がプラスになりやすくなるのです。すなわち積立投資というのは時間を味方にして量をたくさん買っていき、そうすることによって価格の影響度を下げ、最終的な成績がプラスになりやすくなる投資手法ということになります。積立投資の実践はためて増やす資産形成につながるのです。



積立投資のメリット

おさらいすると、積立投資のメリットはためながら増やせること。余計なことは一切考えずに、ただ、毎月一定額を長い期間にわたって買い続けることが積立効果を高めることになります。結果として、何回も買っているうちに価格は気にならなくなり、ハラハラドキドキせず長続きでき、長続きするからプラスになりやすくなる、という関係が生まれます。長い時

間をかけて準備する教育資金作りにはぜひこの積立投資を実践いただきたいと思います。実際コモンズ投信で積み立てをしている方の例をご紹介します。

コモンズ投信で積立投資を行った場合

コモンズ投信で実際にはじめている方の2023年9月までの評価金額（一例）



※上記は、過去一定期間における実績を示したものであり、将来の運用成果を予想、あるいは保証するものではありません。
 ※上記の評価金額は2021年9月末日時点のコモンズ30ファンド、ザ・2020ビジョンの基準価額で評価したものです。
 ※投資信託は、値動きのある有価証券等に投資するため、その基準価額は変動します。
 したがって、投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割込むことがあります。

コモンズ30ファンドがスタートしたのは約15年前ですが、15年前に当時1才だったお子さんに親御さんが毎月1万円積立投資してくれていました。現在（2023年9月末時点）まで、累計177万円をコモンズ30ファンドに拠出して下さっていることになります。それが現在395万円まで増えているということです。

教育資金作りの場合、貯蓄か投資かという2択ではなく、その両方、つまり組み合わせ技も効果的です。1万円コモンズ30ファンドで積み立てをして、もう1万円を預金したとします。そうすると合計で306万円の拠出に対し、コモンズ30ファンドで増えた分の174万円の差益が加わるので480万円が現在の資産になります。右の方はお子さんが現在5才で、0才の時から毎月2万円を、コモンズ30ファンドとザ・2020ビジョンに1万円ずつ積立投資してくれていました。現在までの累計拠出金額の合計が138万円、それに対してその評価額が180万円になっています。この方も同様に138万円預金をしていたとすると、180万に138万を加えて318万円まで資産が増えています。コモンズ投信の商品は、高い変動リスクを取って高いリターンを求めにいくという金融商品なので、こういった成績になるのですが、だからこそ、預金と組み合わせることで投資の有効性も高まると思います。

2024年からのNISA制度の概要

積立投資を実践するときに活用したいのがNISA（非課税）制度です。投資で利益が出た場合や、分配金を受け取る場合は、税法上では所得という扱いになりますので、所得税や住民税などの税金がかかります。本来であれば増えた分に対して、20%の税金がかかるのですが、NISA制度を活用するとその税金がかからなくなるのです。

2024年からは、そのNISA制度がよりパワーアップします。これまでは、つみたてで投資をするのか、一括で投資をするのか、どちらかを選ぶ必要がありましたが、併用が可能となります。つみたて投資枠は年間120万円、成長投資（一括）枠は年間240万円の年間合計360万円まで投資が可能になりました。通算での非課税保有限度額は1,800万円(成長投資枠は1,200万円までですが、つみたて投資枠と合わせて最大1800万円の投資が可能)です。

さらに、NISA枠を活用して運用した資金を払い戻した場合、翌年には枠の再利用が可能になります。また、非課税期間も無期限となったことで、長期利用を検討しやすくなりました。

少額の積立でも、時間をかけることにより、運用実績は安定し、複利効果も大きくなっていきます。新NISAこそ、積立投資で活用すべき制度と言えます。

詳しくは、金融庁やコモンズ投信のNISA制度紹介ページでご確認ください。

NISA制度の概要

	つみたて投資枠	成長投資枠
年間投資枠	併用可(360万)	
	120万円	240万円
非課税保有限度額	1,800万円* (成長投資枠は1,200万円まで)	
投資対象	コモンズ30ファンド	コモンズ30ファンド ザ・2020ビジョン
購入方法	つみたて購入	つみたて購入 スポット購入
対象年齢	18歳以上	
非課税保有期間	無期限	
口座開設期間	恒久化	

*:売却した場合、その分の生涯非課税投資枠を翌年以降に再利用できます。

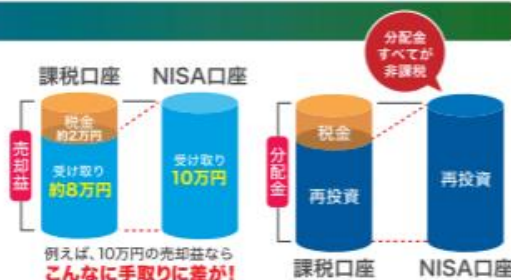
2024年からのNISAについて

NISAなら**税金がかからず**投資ができます。

NISAについて

POINT 1 売却益や分配金が非課税

NISA口座で購入したファンドの値上がりに伴う売却益の税金が非課税になるため、課税口座に比べて受け取れる手取りに差がでます。
NISA口座で購入したファンドの分配金も非課税となり、同ファンドに再投資されます。



POINT 2 つみたてとスポット購入が使い分けて活用できる

2023年までの「つみたてNISA」では「一般NISA」または「つみたてNISA」のどちらか一つを選ぶ必要がありましたが、2024年からは**両投資枠の併用が可能**となりました。

POINT 3 非課税投資枠が合計で年間360万円

2024年からのNISAでは「成長投資枠」で年240万円、「つみたて投資枠」で年120万円となり、かつ**併用が可能**となるため合計で年**360万円**まで投資枠が拡大します。

2024年からのNISAは恒久制度となるため、いつでも始められ、いつまでもお持ちいただけます。

POINT 4 非課税期間が無期限

2024年からのNISAでは、**非課税保有期間が無期限**となるため、より長期の投資が可能となり、ロールオーバーの面倒な手続も不要になります。



タイプ別おすすめ投資枠

あなたはどちら？

「 commons30ファンド」と「ザ・2020ビジョン」の両方購入したい

積極的に投資信託を活用したい



成長投資枠

積立とスポット購入を併用したい

「つみたて」のみで購入を考えている

長期での資産形成を考えている

年間投資金額が40万円以内



つみたて投資枠

学資保険ってどうなの？

教育資金づくりというと必ず比較対象として登場するのが学資保険です。学資保険も商品カテゴリーとしては運用商品です。金利が高かったころは、預けたお金に対してどれだけ受け取れるかを示す返戻率が高かったので活用される方も多かったのですが、低金利が続く今、その魅力は下がっています。とはいえまだメリットはあります。保険という着実性・強制力があるので確実に貯めることができること、払い込みをしている間に両親に万が一のことが起こってもその後の払込が不要で元々契約した金額は受け取ることができることなどです。そして、返戻率が低いと言っても払い込んだ保険料よりは多く受け取ることができます。一方デメリットとしては、引き出しが難しいこと、途中解約した時に元本割れが起ること。また、可能性としては低いのですが、金利がこれからどんどん上がっていくことがあったとすると、学資保険は契約した時に利率が決まってしまうそこから固定なので、他の商品に見劣りする、というようなデメリットがあります。

このような商品の特性を踏まえると、学資保険は強制力がないとお金を貯められないタイプの方は活用するのもよいと思います。また、預金と金融商品、学資保険と金融商品という組み合わせもありますので選択肢のひとつとして考えてください。



貯蓄

+



投資



学資保険

+



投資

「貯蓄と投資」「学資保険と投資」など組み合わせるとGOOD!

いいとこどりが教育資金作りの強い味方になります!

こどもトラストで利用できるファンド

ここからはコモンズ投信のこどもトラストについてご紹介します。こどもトラストというのはコモンズ投信の未成年口座を総称したサービス名です。

こどもトラスト

こどもトラスト口座で購入できる金融商品が、コモンズ30ファンドとザ・2020ビジョンという2つの日本株ファンドです。コモンズ30ファンドは独立系大手投資調査会社の米国Morningstarの2023年モーニングスター・ファンド・アワード（国内株式部門）で最優秀賞を受賞することができました。また、格付投資情報センターのR&Iファンド大賞2023（投資信託10年/国内株式コア部門）においても、優秀ファンド賞を受賞いたしました。詳しくはぜひ私たちが出しているリリースなどご覧ください。

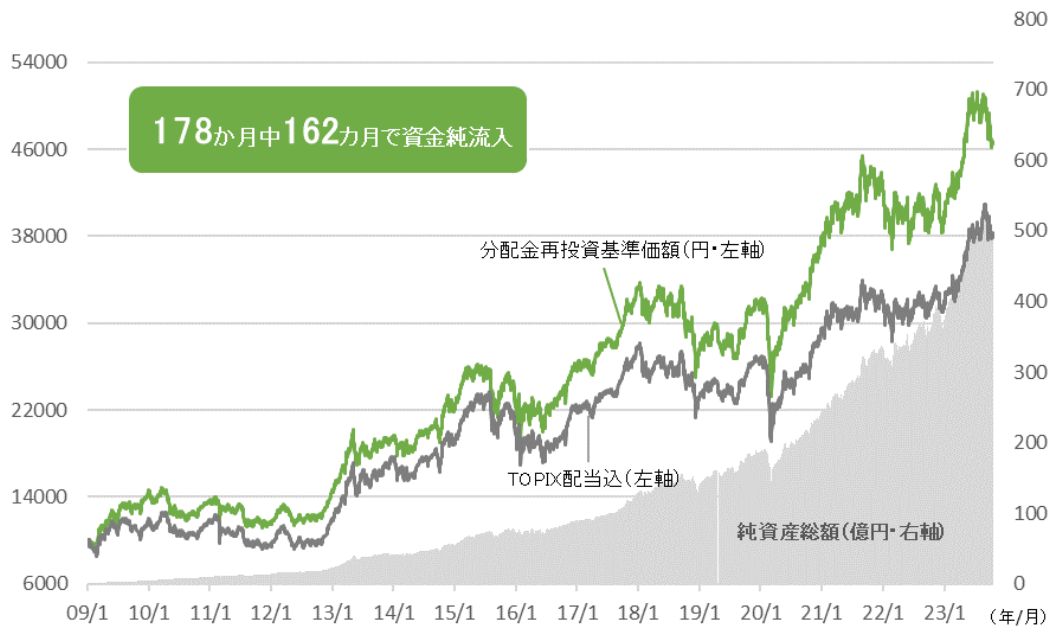
コモンズ30ファンドは30年目線で30社に、対話をしながら投資をするというファンドで、2009年から運用しています。

30F コモンズ30ファンド

**未来に向かって進む
あなたとご家族を長期的に応援するファンド**

今日よりもよい明日のため、ゆっくり、しっかりと育てる長期投資ファンドです。世代を超えて持続的な価値創造が期待できる企業は「進化」を続けます。不透明な時代でも、環境の変化を自らの進化で乗り越えていく企業を見つけるために、財務情報だけでは分からない、非財務的な「見えない価値」にも注目しています。

<p>30年の長い目線を持って お客さまと企業と育む長期投資</p>  <p>10年 20年 30年</p>	<p>真のグローバル企業を 中心に30銘柄へ集中投資</p> <p>30 <small>厳選</small> 銘柄</p>	<p>対話で企業とお客さまをつなぎ 価値の創造と楽しさを提供</p> 
---	---	--



※基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものと仮定して計算した価額です。
 ※TOPIX 配当込指数については、わが国の株式市場全股の動きを示す指標として参考掲示したもので、当ファンドにベンチマークはありません。
 ※TOPIX 配当込指数は設定時を 10,000 として指数化した当社計算値です。
 ※上記グラフと投資パフォーマンスは、2009 年 1 月末～2023 年 10 月末までの過去一定期間における実績を示したものであり、将来の運用成果を予想、あるいは保証するものではありません。

運用成績をご紹介しますと2023年10月末時点で+366%となっています。グラフを見ると細かく上がったり下がったり、変動があることがわかります。金融の世界ではこの「上がったり下がったり、変動があること」をリスクと呼びます。ただ、そのリスクと付き合いながら長い時間軸で投資を続けると大きなリターンを上げることができるわけです。

取っているリスクに対してどれくらいリターンを上げられたか、つまりどれくらい効率よく運用できたか、という指標（シャープレシオといいます）を基に、投資信託は評価されますが、この値が高い（あくまで過去の実績ですが）ということで、コモンズ30ファンドは様々なアワードを受賞しています。

コモンズ30ファンドは「つみたてNISA」の対象商品でもあります。変動する価格を見て、タイミングを見て売り買いをするというのは非常に難しいことなので毎月一定額をコツコツと預けて着実に増やしていく積立投資がおすすめです。

そしてもうひとつの運用ファンドがザ・2020ビジョンです。こちらは企業の変化に着目して投資をする日本株ファンドです。コモンズ30ファンドが持続的、安定的な成長に着目して銘柄を選ぶのに対し、ザ・2020ビジョンは変化している企業、構造的な変化が起きている企業を選んで投資をするという点が異なります。

20V ザ・2020ビジョン

変化を見据えるダイナミックな運用が特徴

未来へ向けた変化を見据えるアクティブ型のファンドです。「変化」をキーワードにして企業を分析し、ダイナミックに運用するファンドを目指しています。中期的な視点で変化を捉え、「変化し始めた企業」「変化にチャレンジする企業」を中心に、株価が割安と判断した水準でダイナミックに投資をします。

ダイナミックな運用



日本株のみに厳選投資

50銘柄

厳選

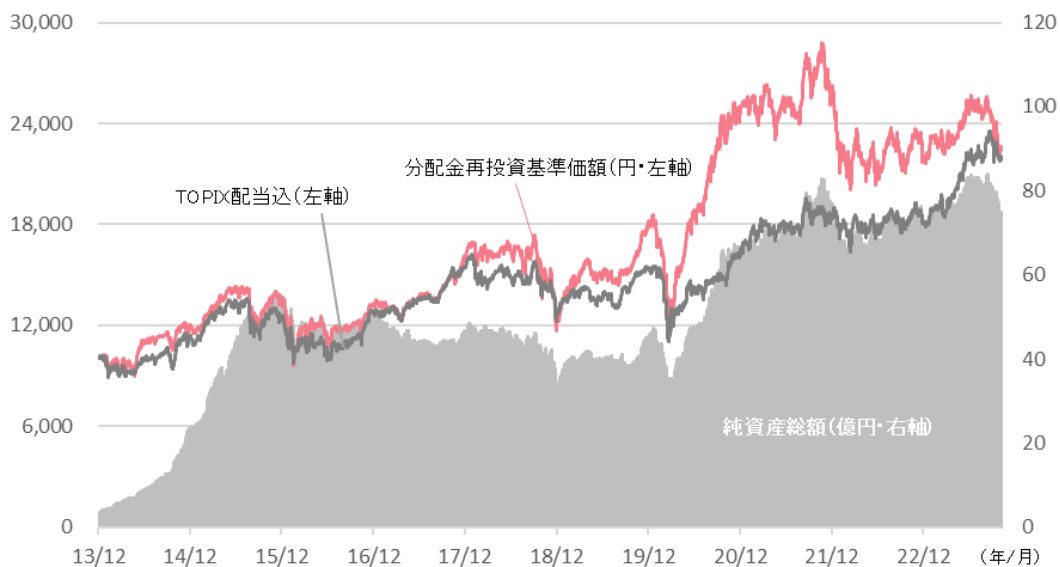
定性評価

企業の変化に着目



定量評価

- 株価に対する割安度合い
- 収益力の変化と持続性



※TOPIX 配当込指数は設定時を 10,000 として指数化した当社計算値です。
 ※上記グラフと投資パフォーマンスは、2009 年 1 月末～2023 年 10 月末までの過去一定期間における実績を示したものであり、将来の運用成果を予想、あるいは保証するものではありません。

2013年のスタート以来、2023年10月末時点で+126%となっています。

ザ・2020ビジョンは高成長銘柄に多く投資をしており、価格の変動も大きくなりやすい傾向があります。その影響がファンド全体にも現れてきますので変動が高くなっています。ハイリスク・ハイリターンなファンドこそ高い時も安い時も一定額買っていくのが積立投資では効いてきますので、ぜひ実践してください。

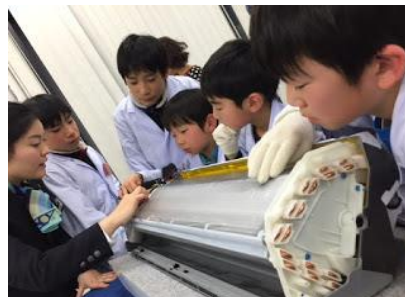
ちなみに、よく皆さまから「運用はどのくらい続けたらいいのでしょうか？」という質問を頂きますが、コモンズ投信では過去5年以上積立をされているお客さまの99.8%が利益を出しています（2023年3月時点）。2015年以上、どの地点においてもほぼ同様の結果です。こうした実績から、資産づくりのゴールを設定したうえで、5年以上運用を継続することをお勧めします。

99%のお客さまが
利益を出しています



ここまで教育資金作りについてお話をしてきましたが、コモンズ投信のこどもトラストではこども向けの様々なイベントやセミナーも行っています。寄付活動を通じてご縁が繋がったNPO団体とワークショップを過去たくさん開催してきました。金融教育としては「おかねの教室」を継続的に開催しています。お金の価値観について一緒に考えていく内容となっています。

投資先企業に投資家として訪問するイベントも開催しています。消費者、生活者という視点だけではなく株主という立場で企業訪問します。HPにダイジェスト動画や開催レポートがありますのでぜひご覧になってみてください。



コモンズBaby

最後にご紹介するのはコモンズBabyというサービスです。「教育資金作りはなるべく早く始める、その仕組みを作ることが大事」とお伝えしてきました。ただ、お子さんが生まれたばかりの頃というのは本当に忙しくてもうお金の事どころではないですよね。頭の片隅には手続きしなくては、と思いながらもなかなか動けないこともあります。

そんなみなさんに最初の仕組みづくりをなるべく早くやって欲しい、その後押しができれば、ということで0~2才のお子さん名義で口座開設をしてくださった時には特別なプレゼントを差し上げるというサービスがこのコモンズBabyです。

ご兄弟がいらっしゃる場合はご兄弟も対象になりますのでぜひご活用ください。



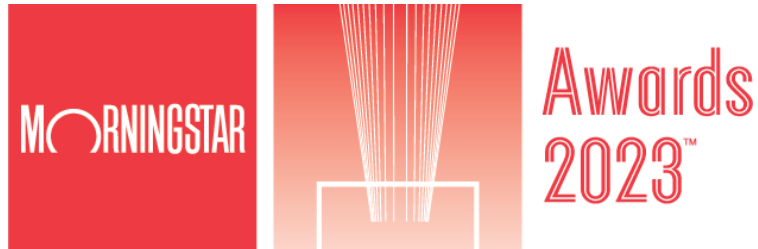
世代を超える投資

コモンズ投信は創業時から30年目線での投資を謳ってきたのですが、この30年には世代を超えるという意味も込めています。次世代のために、手段であるお金を使って、より良い未来の社会を作っていく、そんな投資を実践していきたいですし、皆様にも私たちの商品を通じて未来を信じる力を育てていただけたら嬉しく思います。



投資は未来を信じる力
コモンズ投信

ファンドアワードを多数受賞



Morningstar Awards2023©. Morningstar, Inc. All Rights Reserved.

コモンズ 30 ファンドが日本の国内株式部門の
モーニングスター・ファンド・アワード最優秀賞を受賞



コモンズ 30 ファンド格付投資情報センター
「R&I ファンド大賞 2022」「R&I ファンド大賞 2023」
投資信託 10 年/国内株式コア 優秀ファンド賞



コモンズ 30 ファンド
モーニングスター「ファンド オブ ザ イヤー 2021」
国内株式型 部門 優秀ファンド賞

【モーニングスター・ファンド・アワードについて】アワードは、リスク調整済みの中長期的なパフォーマンス実績と、ファンドの将来に関するモーニングスターの評価であるモーニングスター・メダリスト・レーティング™の組み合わせによって決定されます。アワードは毎年行われており、ファンドの1年間のパフォーマンスを重視するのは適切であると考えていますが、ファンドはリスクを調整後の3年および5年で高い相対リターンを達成している必要もあります。また、長期的にアウトパフォームし続ける潜在力についての将来的な評価を反映するため、モーニングスターのメダリスト・レーティングでポジティブ（金 / 銀 / 銅）の評価を得たファンドを選出の際に優先します。

【格付投資情報センター“R & I ファンド大賞 2022”について】「R & I ファンド大賞」は、R & I が信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報（ただし、その正確性及び完全性につき R & I が保証するものではありません）の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務（信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務）です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は R & I に帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。

【格付投資情報センター“R & I ファンド大賞 2023”について】

「R & I ファンド大賞」は、R & I が信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報（ただし、その正確性及び完全性につき R & I が保証するものではありません）の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務（信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務）です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は R & I に帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。

【モーニングスターアワード“ファンド オブ ザ イヤー2021”について】

Morningstar Award “Fund of the Year 2021”は過去の情報に基づくものであり、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。また、モーニングスターが信頼できると判断したデータにより評価しましたが、その正確性、完全性等について保証するものではありません。著作権等の知的所有権その他一切の権利はモーニングスター株式会社並びに Morningstar, Inc. に帰属し、許可なく複製、転載、引用することを禁じます。当賞は国内追加型株式投資信託を選考対象として独自の定量分析、定性分析に基づき、2021年において各部門別に総合的に優秀であるとモーニングスターが判断したものです。国内株式型部門は、2021年12月末において当該部門に属するファンド897本の中から選考されました。

ファンドの費用について

購入時手数料	<コモンズ投信の場合>ありません。 <委託会社が指定した販売会社の場合>販売会社が、別途定める購入申込手数料を申し受ける場合があります。なお、販売会社における購入申込手数料率は3.3%（消費税込）が上限となっております。
換金時手数料	ありません。
運用管理費 （信託報酬）	<コモンズ30ファンドの場合> ファンドの純資産総額に年1.078%（消費税込）を上限とした率を乗じて得た額とします。なお、基準価額は、信託報酬控除後のものです。信託報酬は、純資産総額の一定の増加により逓減する仕組みになっています。 <ザ・2020ビジョンの場合> ファンドの純資産総額に年1.265%（消費税込）を上限とした率を乗じて得た額とします。 なお、基準価額は、信託報酬控除後のものです。信託報酬は、純資産総額の一定の増加により逓減する仕組みになっています。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用・ 手数料	当ファンドに組み入れる有価証券等を売買する際の売買委託手数料およびこれにかかる消費税等相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。また、目論見書・運用報告書等作成費用、監査費用、信託事務に要する諸費用等として純資産総額の0.11%（消費税込）を上限として投資信託財産より控除されます。上記の手数料（費用）等の合計額については、保有期間に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。

ファンドのリスクについて

ファンドは、国内外の株式など値動きのある証券等に投資するため、その基準価額は変動します。したがって、お客さま（受益者）の投資元本は保証されているものではなく、これを割り込むことがあります。委託会社の運用により生じるこうした基準価額の変動による損益は、すべてお客さま（受益者）に帰属します。投資信託は預貯金と異なります。

※リスク要因は、上記に限定されるものではありません。詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

ご留意事項

<p>◆本資料は、コモンズ投信が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものです。</p> <p>◆このレポートは、信頼性が高いと判断された情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通し等は作成日時点のものであり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。</p> <p>◆投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認のうえ、ご自身の判断でお申し込みください。</p>	<p>金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 2061 号</p> <p>加入協会 一般社団法人投資信託協会</p> <p>コモンズ投信株式会社 〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-5 VORT 平河町II 5階 （旧 平河町Kビル）</p>
---	---